

下松工業会報

平成20年7月1日 第39号

社団法人 下松工業会
〒744-0012 下松市北斗町12番4号
事務局 下松工業同窓会館
TEL (0833) 43-1336
FAX (0833) 41-7448
URL: <http://www.kudakokai.org>
E-mail: kogyokai@triton.ocn.ne.jp



ごあいさつ 法改正と社団法人

会長 野田 泰典

平成20年5月17日、社団法人下松工業会の総会が下松駅南口の「きらぼし館」に於いて、150名の参加のもとに盛会裡に開催されました。当日は大変お忙しい中を、井川下松市長を始め、村上校長、竹中元校長他多数のご来賓のご臨席を頂き、花を添えて頂きました。また、総会前のアトラクションとして、母校の吹奏楽部が「校歌」「下工行進曲」「ドラマの主題歌」などで大いに盛り上げてくれました。

また当日は、大変お忙しい中を、C33年卒で元名古屋高検検事長の石川達紘弁護士に『裁判員制度について』と題し講演をして頂きました。淡々とした中にも含蓄ある話、中でも現役時代のエピソードは興味深いものでした。

取り調べの時に最も注意を要した事は、検事の代わりはいるが、被疑者の代わりはいない。つまり、被疑者の自殺には特に気を使ったそうです。また、膨大な資料を押収するが、それを一つ紛失することさえ許されないなど、興味津々のあっという間の時間でした。

さて、昨年までの大会運営は、下松市内の支部の持ち回りでやっておりましたが、今年からは周南地区へと拡大しました。今回は(株)トクヤマ支部(司会)、周南支部(書記)、光支部(議事録署名)に協力して頂きました。

昨年12月には新たに岩国支部(E39、古本支部長、44名)が発足致しました。岩国市内のみならず和木や大竹からの参加をお待ちしています。工業会事務局までご一報下さい。今後は、広島支部の創立、防府及び福岡支部の活性化に向けて取り組みます。

また当日は、岡野東京支部長、石原東海支部長、荒谷大阪支部長より、各支部の近況について報告して頂きました。

昨年発足した下工ビジネスネットワーク(以下、下工BNW)ですが、現在20数名の参加を得て活動を開始しました。本年度は農産物の生産から販売を

行うこととし、6月に第1回の発売を周南市で行います。そのほかに、竹炭や会員作成の絵葉書の発売も行う予定です。下工BNWは人的な交流を主に考えております。退職されてまだまだ体力や気力のある方の参加をお待ちしています。企業からの求人も少しですが来ております。

本年12月から法改正により、社団法人が一般社団法人と公益社団法人に別れます。公益社団法人は収入源に制約があり、第三者の役員就任などがあります。一方、下松工業会の場合は皆さん方の会費と会館のテナント料及び会館使用料で賄われています。したがって、選択肢としては一般社団法人になるものと思います。

なお、今年の会計報告の中で財産目録が昨年より大きく変わっております。今まで、建物を償却していませんでしたので、評価額より異なっていました。それを今回から正規の評価額に変更致しました。一般社団法人になれば一般企業と同じ取り扱いとなりますので、実質財産を計上致しました。今後の会計については税理士さんそして山口県教育委員会のご指導のもと、調整して参ります。

最後にお願ひですが、会費の納入が年々低下しております。社団法人の基本は、会員の会費で賄うのが原則です。どうかご協力頂きますようお願い申し上げます。また、平成23年には母校の創立90周年を迎えます。すでに本会報でご案内の通り、一昨年から準備に入っており、基金の募集を開始しております。諸物価高騰の折ではございますが、運営基金共々ご協力賜りますよう宜しくお願い申し上げます。

本年、役員会をより強固にするため、規約を改正し理事を2名増員しました。役員一同新たな気持ちで頑張りますので、今まで以上のご支援を宜しくお願い申し上げます。ご挨拶とさせていただきます。





特色ある学校づくり

校長 村上 正 美

工業会の皆様方には、本校教育の発展にご理解と多大なご支援を賜り、厚くお礼申し上げます。17087名の卒業生の皆様が、様々な分野でご活躍されていることに対し、深甚なる敬意を評します。私は本年4月に着任いたしました。以前、平成8年4月から平成15年3月まで7年間、全日制及び定時制でお世話になり、5年ぶりに再び勤務させていただくことになりました。どうかよろしく願い申し上げます。

さて、本年は創立87年目に当たります。3年後、山口県が国体開催を引き受ける年に90周年を迎えます。充実した学校づくりにしっかりと取り組んで行きたいと思っています。

ご存知のとおり、教育基本法の改正に伴い、教育3法案の改正、学習指導要領の改訂と教育界も大きく変化してきています。OECDの学力調査結果を下にPISA型学力の低下や生徒の学習意欲の低下が囁かれています。さらに、家庭の経済力と子供の学力や学習意欲が比例状態にあるといわれています。中学校や高校を見ると二極分化が確かに進んでいます。また、中学の受験生の選択の幅を上げようと、山口県の高校の受験可能範囲が7つの学区に拡大され、生徒募集が大変厳しい状況となってきています。このような中、目的意識のある生徒を募集するため、特色ある学校づくりが求められています。

平成11年度から3年間、文部科学省の研究指定校として、「より深く」「より幅広く」「より高度に」学べる総合選択制を取り入れ、就職も進学もできる工業高校を目指してきました。ここ3年間は求人状況もよく、就職希望者が多かったため、ものづくり教育を中心に、工業に関する知識・技能の習得を目指した工業技術者の育成を柱に取り組んできました。

併せて、各種資格・検定に積極的に挑戦し、全国工業高等学校長協会のジュニアマイスター顕彰制度において、全国30位にランキングされました。

3つ目は部活動の強化を目指した学校の活性化への取り組みです。中学生が高校を選択する際、部活動の比重は決して小さいものではありません。下松

工業で活動し、3年間頑張りたいと思ってくれる魅力ある部活動にしたいと思っています。今年度は4月末現在で既に、弓道部、剣道部の中国大会出場が決まっています。昨年度末には、ハンドボール部が選抜大会に出場し、みごとベスト8に入りました。国体の強化指定校にもなっており、3年後の国体に向けさらに充実させて行きたいと思っています。

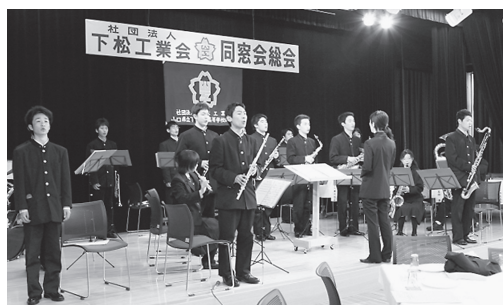
定時制においては、今年度は定時制・通信制大会の軟式野球競技が記念大会に当たり、山口県単独出場の年になっており、全国大会出場の期待がかけています。また、4月に行われました公式野球部の春季県体には多くの同窓生、保護者の方々が応援に来てくださいました。野球に対する関心の高さと母校の野球部の活躍をという期待の現われだろうと深く受け止めました。期待に答えられる様、強化していきたいと思っています。

「総合選択制」「ものづくり教育」「資格取得」「部活動の活性化」を柱とした特色ある学校づくりを推進し、目的意識のある生徒を募集し、下松工業ここにありと県内外に知らしめることができるよう努力したいと思っています。

次に、残されている課題があります。生徒の教室棟と本館は平成9年、10年に建て替えられました。体育館は今年度、耐震補強がなされますが、実習棟がそのまま、手付かずで残っています。90周年までには何としても、実習棟と特別教室棟を建て替える必要があるのではと思います。高校再編統合と県財政の厳しい状況ではありますが、是非同窓生の皆様方のお力添えをいただければと思います。

工業会の皆様の築かれた伝統を引き継ぎながら、「天下の下松工業」の名を汚さぬよう、そして、素晴らしい生徒を世に送り出せるよう、工業教育に取り組みたいと思っています。

今後とも変わらぬご指導、ご支援をお願い申し上げますとともに、社団法人下松工業会のご発展と、皆様方のさらなるご活躍を心からお祈りいたし、ご挨拶とさせていただきます。



平成20年度定時総会報告書

記念講演

議事に先立ち、弁護士 石川達紘氏（C33）が、「裁判員制度について」と題して記念講演を行った。石川氏は「検事時代は検事の代りはいるが被疑者の代りはいない、と被疑者の自殺防止に力を注いだ」と検事時代を振り返った。裁判員制度は「国民の司法参加を実現する制度で、国民の視点、感覚が裁判の内容に反映される」とメリットがあると呼び掛けられた。参加者一同熱心に聴講されました。

定時総会

1. 開催の日時及び場所

平成20年5月17日(土) 14時～15時
下松市大字西豊井1247番地（下松駅南）
きらぼし館（きらぼしホール）

2. 会員の現在数 10,832人

出席会員数 2,267人
うち出席者数 147人
書面議決者 2,120人

3. 議 事

- 1号議案 平成19年度 事業報告
- 2号議案 平成19年度 決算報告並びに監査報告
- 3号議案 平成20年度 事業計画（案）
- 4号議案 平成20年度 予算（案）
- 5号議案 定款の変更について
- 6号議案 役員改選について

議事録署名人	機械科	30年卒	林 洋司
	機械科	36年卒	山本 和男
書 記	電気科	56年卒	松村 昌幸

3) 議事の経過の概要

1号議案と2号議案は関連するので、一括して提案。西林伸治監事が報告し満場一致をもって承認可決された。

3号議案と4号議案も一括して提案の上満場一致をもって原案どおり承認可決された。

5号議案定款の変更を提案する定款第12条本会に役員を置く、理事10名以上、15名以内を提案。満場一致をもって原案どおり承認可決した。

6号議案は役員全員が任期満了にともなう改選で、事務局より理事吉岡正則から一身上の都合により辞任したい旨の申し出あったことの説明あり。新任理事候補の栗田一郎、小林孝二、徳原英昭を含む事務局案を議長が会場に諮ったところ満場一致で承認された。改選者、新任者は、即時、就任を承諾した。



4. 総会の経過

- 1) 議長は下松市役所支部 井内慎一郎氏（CH元）が選出された。
- 2) 議事録署名人並びに書記指名 井内議長は、定款28条により左の者を指名した。



1号議案 平成19年度事業報告

1. 主要事業

- (1) 組織の充実と強化
 - ・ 定時総会開催並びに16支部総会の出席（5月19日 139名、きらぼし館）
 - ・ 拡大役員会の開催（5月、27名。12月、35名）
 - ・ 岩国支部 設立総会（12月1日）への支援
古本支部長 他21名
(会員数44名)
 - ・ 母校文化祭への参加
メッキ、合金の実習、会員作品及び著書の展示、下松工業会の紹介
 - ・ 学年幹事会合と懇親会の実施
 - ・ (社)下松工業会定時総会に対するアンケートの実施 30名
 - ・ 在学生（母校の）に会報（38号）の配布を開始 505部
 - ・ 同窓会入会式（2月29日）、新入会員 162名
- (2) 広報活動の充実
 - ① 会報の充実
 - ・ 会報No 38号発行（7月13日 10,759名）
駅南町並み紹介
 - ② ホームページの充実
 - ・ バナー広告開設 8社契約
- (3) 文化、レクリエーション活動
 - ・ 定時総会で講演会の実施：三畿産業(株)
荒谷実貴男（C22）
創業57年社長の「根性人生と勝つ経営」
 - ・ 第16回七彩ゴルフ大会（78名、10月11日）
麻雀大会（24名、2月3日）
親睦ボウリング大会（52名、3月4日）の実施
- (4) 調査研究委員会の開催
 - ① 会費及び会館収益向上のための方策検討
 - ・ 前年度に引き続き会報は全会員に発送し、会費納入の啓蒙に努めた。
 - ・ 会館をカルチャーセンターとして活用について検討（継続中）
 - ② 財政向上のための事業への取り組み
- (5) 下工ビジネスネットワーク（略称*BNW）
 - ・ 年度総会でBNW発足を発表した後、運営委員の人選、業務内容の決定、ホームページの開設、会員募集を行った。
 - ・ テーマとして、「農産物の産直販売部会」を立ち上げ、販売方法等の研究
- (6) 会計基準改正の為、新会計に移行
- (7) 育英奨学金事業再開 2名交付
- (8) 空調設備更新・事務設備更新・昼の表替え完了

2号議案 平成19年度決算報告並びに監査報告

1. (社)下松工業会 会計決算書

(平成19年4月1日～平成20年3月31日)

収入総額 ￥6,543,624
 支出総額 ￥6,462,928
 差引残高 ￥ 80,696 (翌年度繰越金)

収入の部

(単位:円)

項	目	予算額(A)	決算額(B)	増(B-A)減
同窓会収入		3,324,668	3,658,632	333,964
	入会金	815,000	810,000	△ 5,000
	年会費	1,700,000	1,676,200	△ 23,800
	運営基金	570,000	584,752	14,752
	その他の収入	239,668	587,680	348,012
工業会館収入		3,102,106	2,831,124	△ 270,982
	使用料	1,250,506	979,524	△ 270,982
	賃貸料	1,851,600	1,851,600	0
雑収入	雑収入	4	646	642
前年度繰越金	繰越金	53,222	53,222	0
合 計		6,480,000	6,543,624	62,982

支出の部

(単位:円)

項	目	予算額(A)	決算額(B)	増(B-A)減
会務運営費		3,055,000	3,450,562	△ 395,562
	人件費	270,000	215,271	54,729
	会議費	150,000	136,366	13,634
	旅費	180,000	196,920	△ 16,920
	慶弔費	185,000	210,000	△ 25,000
	会報費	500,000	605,010	△ 105,010
	通信費	750,000	695,536	54,464
	事務費	300,000	296,368	3,632
	行事費	150,000	134,015	15,985
	基金	500,000	900,000	△ 400,000
	表彰費	20,000	20,000	0
	記念品料	50,000	41,076	8,924
会館運営費		3,265,000	2,895,446	369,554
	人件費	1,600,000	1,594,428	5,572
	共済費	40,000	29,012	10,988
	公租公課	380,000	350,300	29,700
	保険料	45,000	44,700	300
	電話料	200,000	143,652	56,348
	電気料	400,000	297,930	102,070
	上下水料	50,000	19,212	30,788
	ガス料	45,000	12,737	32,263
	需用費	150,000	121,200	28,800
	営繕費	200,000	186,840	13,160
	委託料	155,000	95,435	59,565
予備費	予備費	160,000	116,920	43,080
翌年度繰越金	繰越金	0	80,696	△ 80,696
合 計		6,480,000	6,543,624	△ 63,624

2. 平成19年度基金会計決算書

(平成19年4月1日～平成20年3月31日)

収入総額 ￥20,140,522
 支出総額 ￥ 1,862,385
 差額残額 ￥18,278,137 (翌年度繰越金)

収入の部

(単位:円)

科	目	予算額(A)	決算額(B)	増(B-A)減
前年度繰越金		19,124,500	19,124,500	0
繰入金		500,000	900,000	400,000
雑収入		279,500	116,022	△ 163,478
合 計		19,904,000	20,140,522	236,522

支出の部

(単位:円)

科	目	予算額(A)	決算額(B)	増(A-B)減
育英奨学金		168,000	168,000	0
会館維持費		2,410,000	1,680,735	729,265
基金		17,326,000	13,650	17,312,350
翌年度繰越金		0	18,278,137	△ 18,278,137
合 計		19,904,000	20,140,522	△ 236,522

3. 特別会計

90周年記念事業積立金 18年度 ￥1,043,874
 90周年記念事業積立金 19年度 ￥1,064,420
 合 計 ￥2,108,294 (翌年度繰越金)

監査報告

平成19年度下松工業会会計、基金会計、特別会計について関係帳簿及び証拠書類を照合監査した結果、正確かつ適正であることを認めます。

平成20年4月7日

社団法人 下松工業会 監事 西林 伸治
監事 松本 勇
監事 石田 和久

3号議案 平成20年度事業計画（案）

1. 組織の充実と強化

- ・既存支部の充実を図ると共に、支部のない地域での支部発足をを目指す。

2. 広報活動の充実

- (1) 会報No39号発行、会報は従来とおり、1年に1回の発行とするが、会員交流の場として親しみやすくなるよう更に工夫をする。
- (2) ホームページはコミュニケーションの場として、更に充実を目指す。

3. 文化、レクリエーション活動

記念講演は引き続き行い、会員のニーズに沿ったものを実施する。ゴルフ、ボウリング、麻雀大会は引き続き実施する。

4. 下エビジネスネットワーク（略称*BNW）

- ①運営員会は5名、参加者は初年度20名
- ②「農産物産直販売部会」は、6月から周南市内のスポーツクラブ駐車場に定例売り場（土曜市）を開設する方針。
- ③その他検討事項として、下松市の観光絵葉書（川柳を詠み込む）の発行、廃食用油からバイオジーゼル燃料化の可能性調査、有用人材の紹介斡旋等

5. 調査研究委員会の開催

安定収入の実現に向けての取組み

4号議案 平成20年度予算

1. 平成20年度(社)下松工業会会計予算書

（平成20年4月1日～平成21年3月31日）

収入の部 (単位：円)

項 目	予算額(A)	前年度決算額(B)	増(A-B)減
同窓会収入	3,277,058	3,658,632	△381,574
入 会 金	770,000	810,000	△40,000
年 会 費	1,700,000	1,676,200	23,800
運 営 基 金	570,000	584,752	△14,752
その他の収入	237,058	587,680	△350,622
工業会館収入	2,851,600	2,831,124	20,476
使 用 料	1,000,000	979,524	20,476
賃 貸 料	1,851,600	1,851,600	0
雑 収 入	646	646	0
前年度繰越金	80,696	53,222	27,474
合 計	6,210,000	6,543,624	△333,624

支出の部 (単位：円)

項 目	予算額(A)	前年度決算額(B)	増(A-B)減
会務運営費	3,055,000	3,450,562	△395,562
人 件 費	470,000	215,271	254,729
会 議 費	150,000	136,366	13,634
旅 費	180,000	196,920	△16,920
慶 弔 費	185,000	210,000	△25,000
会 報 費	500,000	605,010	△105,010
通 信 費	750,000	695,536	54,464
事 務 費	300,000	269,368	3,632
行 事 費	150,000	134,015	15,985
基 金	300,000	900,000	△600,000
表 彰 費	20,000	20,000	0
記念品料	50,000	41,076	8,924
会館運営費	3,065,000	2,895,446	169,554
人 件 費	1,400,000	1,594,428	△194,428
共 済 費	40,000	29,012	10,988
公 租 公 課	380,000	350,300	29,700
保 険 料	45,000	44,700	300
電 話 料	200,000	143,652	56,348
電 気 料	400,000	297,930	102,070
上 下 水 料	50,000	19,212	30,788
ガ ス 料	45,000	12,737	32,263
需 用 費	150,000	121,200	28,800
営 繕 費	200,000	186,840	13,160
委 託 料	155,000	95,435	59,565
予 備 費	90,000	116,920	△26,920
次年度繰越金	0	80,696	△80,696
合 計	6,210,000	6,543,624	△333,624

2. 平成20年度基金会計予算書

収入の部 (単位：円)

科 目	予算額(A)	決算額(B)	増(A-B)減
前年度繰越金	18,278,137	19,124,500	△846,363
繰 入 金	300,000	900,000	△600,000
雑 収 入	111,863	116,022	△4,159
合 計	18,690,000	20,140,522	△1,450,522

支出の部 (単位：円)

科 目	予算額(A)	決算額(B)	増(A-B)減
育英奨学金	168,000	168,000	0
会館維持費	1,000,000	1,680,735	△680,735
基 金	17,522,000	13,650	17,508,350
翌年度繰越金	0	18,278,137	△18,278,137
合 計	18,690,000	20,140,522	△1,450,522

3. 特別会計

90周年記念事業積立金

平成18・19年度積立金残高 ￥2,108,294
平成20年度積立額（目標額） ￥1,000,000
平成21年度繰越額 ￥3,108,294

5号議案 定款変更について

理事の増員について

第3章 役員等

(役 員)

第12条本会に役員を置く。

(4) 理 事 11名(会長及び副会長を含む)
変更後

(4) 理 事 15名以内(会長及び副会長を含む)

6号議案 役員改選について

社団法人 下松工業会役員改選

新役員

役 名	氏 名	卒年	備 考
会長	理事 野田 泰典	C34	留任
副会長	〃 河村 正浩	C39	留任
〃	〃 岡野 傳司	C40	東京地区 留任
〃	〃 荒谷実貴男	C22	大阪地区 留任
〃	〃 野末 育利	C34	北九州地区 留任
専務理事	〃 槌尾 博之	M35	留任
〃	〃 橋本 暢公	M35	留任
〃	〃 渡辺 孝之	T43	留任
〃	〃 吉松 幸祥	M45	留任
〃	〃 高松裕一郎	E50	留任
〃	〃 栗田 一郎	C40	新任
〃	〃 小林 孝二	C40	新任
〃	〃 徳原 英昭	M48	新任
監事	〃 西林 伸治	E42	留任
〃	〃 松本 勇	C34	留任
〃	〃 石田 和久	C44	留任

退任役員

	理事	吉岡 正則	M36		
--	----	-------	-----	--	--

委 嘱

役 名	氏 名	卒年	備 考
名 誉 会 長	深町 和彦	C16	元顧問
顧 問	久保田茂則	M28	前会長

その他

1. 90周年記念事業（平成23年10月）

- ・記念事業（楽器・図書の充実）
- ・会館事業（会館の補修で雨水配管取付け金具の更新・外装塗装）
- ・記念募金目標 ¥5,000,000
- ・記念講演・懇親会
引き続き目標達成に努力

2. 公益法人制度改正法の施行（平成20年12月1日） 公益社団法人 一般社団法人の選択（向う5年以内）

総会へ出席されなかった方で、総会資料を希望される方は、事務局までご一報下さい。お送りします。

新役員



「三種の神器」で
やりますよ!!

理事

C40 栗田 一郎

このたびは理事に登用していただき、ありがとうございます。くりたいちろう、1946年4月25日生まれ＝戌年＋牡牛座＋O型＝古来??から稀とされる「三種の神器」の持ち主です。

就任に当たり、この神器を活用して、工業会ないしはBNWの多少なりとも活性化のお役に立つことができれば、幸甚です。

これからの数年間は、工業会では毎年200名くらいの方が企業を「卒業」されて、自由人になられます。ぼくら団塊世代のシニアライフの充足を目指して、あなたも一緒に活動しませんか？他校の同窓会にはない、元気印で刺戟的な下松工業会にしていきたいと思います!!



BNW 定着を

理事

C40 小林 孝二

本年はBNW定着の年に出来たらと期待しています。理事として微力を尽くしたいと考えています。役員・会員の皆様のご支援ご鞭撻をお願い致します。



時間はたっぷり
あります

理事

M48 徳原 英昭

平成20年度理事に選任頂きました徳原です。昭和48年に卒業後周南にずっと住んでいます。(社)下松工業会行事には2年前より参加させていただいています。アフラック募集代理店をしていますので空いた時間があります。イベント等でお手伝いできることがありましたら、フリーダイヤル0120-305-519まで、いつでも、なんでもご連絡ください。一生懸命頑張りますので、ご指導、ご鞭撻の程宜しく願いいたします。

本部行事この一年

○第16回七彩会ゴルフ大会

平成19年10月11日 白須那カントリークラブ
優勝 M36 清水 純治



○第1回「学年幹事会」懇親会開催 組織強化の一環として開催

平成19年10月13日 下松工業会館

MH6 水田 章夫	SH9 玉野 隆祥
MH9 武智 裕之	MH16 弘中 貴幸
EH17 松川 直義	IH18 浅田 健悟
IH18 重村 竜也	

市川先生の話に聞き入る



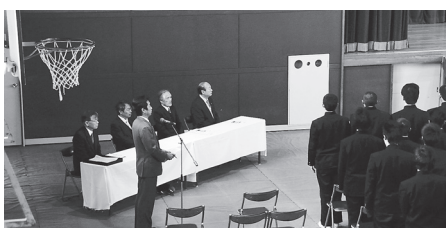
○親睦マーじゃん大会

平成20年2月3日 下松工業会館
優勝 C44 徳原 則光



○平成19年度新入会員入会式

162名が新たに会員となりました。
平成20年2月29日 母校体育館



○親睦ボウリング大会

平成20年3月4日 下松スポーツセンター
優勝 母校 田中基訓



○下工祭でめっき体験教室（OB講師）開催、及び同窓生の作品展示

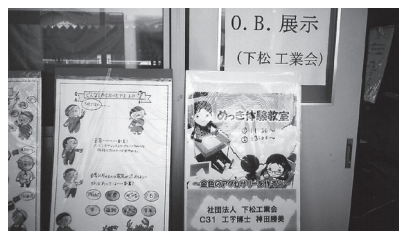
平成19年11月10日 母校工業化学科教室

1. めっき体験教室：講師…工学博士 神田勝美氏（C31）

- ①第1回体験教室 母校生徒7名、教師1名
- ②第2回体験教室 小学生4名

2. 展示品（敬称略、順不同）

- ①絵画・書・模型…野田泰典、内山和美、伊藤洋子
- ②森の妖精・きのこたち…黒田義則
- ③人と本：短歌、句集、歌集、ふぐのグッズと本
…河村正浩、青木義雄、浜田道子、小西 守、宮本照夫
磯村英樹、三牧義明、小野祥亮、谷口文男
- ④工業会の沿革…40年史、70年史、80年史、下工弁慶号写真
下松工業会館建設の写真、下松工業会の沿革
を紹介





下工プラスバンドの演奏で総会に花を



弁慶号を愛する会



受付



井川市長



野田会長



来賓



村上校長



議長



専務理事



岡野東京支部長



荒谷大阪支部長



石原東海支部長



学年幹事 松岡孝尚



母校だより

【全日制】

19年度末の異動により、藤井博明校長が宇部工業高校へ転出され、後任に田布施工業高等学校より村上正美校長をはじめ4名の教職員が転出入しました。また、1月には養護の小川先生が、4月には英語の有道先生が産休に入られ、代替として2名の若い女性の先生もお迎え致しました。そして4月8日には160名の新入生を迎えることができました。

学校運営面においては、学校評価（内部評価、生徒や保護者による外部評価、生徒による授業評価）が実施され、また、教職員の評価も試行として今年度も実施されています。19年度より学校の目標及び到達状況、課題等を示した学校自己評価書を作成することとなりました。そして学校評議員5名と保護者代表3名を加えた8名の学校関係者評価委員会にこの学校評価書を提示し、評価を頂きました。この会の委員長には同窓会の槌尾様にお引き受け頂きました。多くの貴重な意見を伺い、今年度の学校教育の改善に繋げ、さらに伝統ある高い質の下松工業高校の教育を目指していきたくと思っています。また、自己評価書の内容につきましては学校のホームページにも掲載予定ですので、多くの同窓生の厳しく、温かいご意見をお寄せ頂ければと願っております。

学習面においては、基礎学力を補うためのステップテストの実施や漢字能力検定をはじめ各種資格検定に臨み、全国工業高等学校資格取得ランキングで30位以内となりました。中でも仕上（機会組立仕上げ作業）の3級技能士は本校システム機械科の3年生2名が県下で第1号、2号の取得となりました。また、生徒の課題研究の発表も20年2月15日に本校体育館にて地元の企業の方や中学校（教員、生徒、保護者）にご覧いただき、好評でした。そして昨年1年間の皆勤（欠席、遅刻、早退が1回もない）生徒数が学校全体の44%と約半数であり、更にこの伝統を守っていきたくと思っています。

部活動においては、昨年度の結果は表の通りですが剣道部の個人2名の全国大会出場や、ハンドボール部の全国選抜大会ベスト8という成果を上げました。現在、各部とも6月からの県高校総体に向けて各部一層の練習に励んでいるところです。すでにハ

ンドボール部は中国大会県予選で優勝し、剣道部も個人、団体で、弓道部も個人、団体で中国大会出場を決めております。またものづくりコンテストの県大会が本格的に始まりました。結果は表の通りです。各科共どのコンテストや競技会においても上位を独占する快挙となりました。またマイコンカーにおいては中国大会において情報電子科の3年生が1位、2年生が2位と独占し、全国大会（北海道）2年連続出場を果たしてくれました。今年度こそは全国で上位入賞を果たしてくれることと願っております。

【進路状況】

今春卒業した生徒の進路状況は次ページの表の通りですが、製造業の好調さもあり、求人数が好調だった昨年度を更に超え、949人、求人倍率も7倍という状況になりました。県内求人数も増加しており、就職者数は全体の86.5%、その8割が県内企業に就職することができました。これも同窓生、諸先輩のこれまでのご活躍、ご努力のお陰と心より感謝いたしております。また学校においても進路指導の一環としてキャリアセミナーやようこそ先輩事業など同窓の方々の体験をもとにした貴重な講話を伺うことのできる事業を実施し、生徒にとっても大変ためになるお話を聴く機会となりました。今年も実施の予定です。

最後になりましたが、今まで以上社会に有為な人材を輩出するために、基礎基本を重視し、基本的な生活習慣やコミュニケーション力を身につけさせることに重点を置いた指導をしていきたいと思っておりますので、今後とも皆様のご支援をよろしくお願いいたします。

進路状況（平成20年3月卒）

区 別	システム機械	電子機械	情報電子	化学工業	合 計	%
卒 業 者	38	40	39	39	156	
進 学	大 学	0	3	6	2	11
	短大・高専	0	1	1	0	2
	専門学校等	2	1	3	2	8
	その他	0	0	0	0	0
	合 計	2	5	10	4	21
就 職	企 業	36	35	28	34	133
	公務員等	0	0	1	1	2
	合 計	36	35	29	35	135
他	その他未定	0	0	0	0	0

部活動及びものづくりコンテスト等の主な成績

(平成19年4月～平成20年3月)

【部活動】★県選手権大会男子総合の部 第3位★	
〈運動部〉全国大会	☆ハンドボール部（高校選抜大会ベスト8） （国民体育大会4名出場） ☆剣道部（高校総合体育大会個人2名）
中国大会	☆ハンドボール部（優勝1回、準優勝1回） ☆弓道部（団体、個人2名出場） ☆陸上競技部（個人1名、駅伝団体出場） ☆剣道部（団体、個人2名出場） ☆登山部（団体3位） ☆ソフトテニス部（個人2名出場） ☆水泳部（個人1名出場）
〈文化部〉全国大会	☆写真部（高校総合文化祭出品）
【ものづくりコンテスト等】	
◎電子回路組立部門（情報電子科出場）	県大会1位、中国大会5位
◎化学分析部門（化学工業科出場）	県大会1、3位、中国大会2位
◎ものづくり匠の即技能競技大会（システム機械科出場）	溶接職種…最優秀賞
◎県ロボット競技大会…決勝トーナメント出場	
◎ジャパンマイコンカーラリー中国大会（情報電子科出場）	1位、2位…全国大会出場

【定時制】

今春の卒業生は6名でした。うち3名は、県内製造業に就職し、残り3名はアルバイトを継続しながら、今後自らの意志で職業を決定していきます。

製造業への就職は、生徒の工業に関する基礎的・基本的な知識と技術の習得はもちろんのことですが、これまで諸先輩方が御活躍されてきた賜と考えており、大変感謝しています。

さて、今年度は、1年7名・2年8名・3年5名・4年7名の計27名（女子5名）で新学期をスタートしました。

機械科の授業においては、資格取得の指導に力を入れ、生徒の意識も年々高くなってきています。放課後には、課外授業による受験対策を実施していますが、特に、危険物取扱者（乙種第四類）や電気工事士（第二種）の取得に成果が表れてきています。

また、恒例となりました8月に開催される「笠戸島マリニイカダレース」においては、4年生が課題研究で製作した「イカダ」でレースに参加しています。過去3年連続で「デザイン部門」に入賞し、本年度も「ものづくりの学校」として本校定時制の存在をアピールしていきたいと考えています。

最後に部活動ですが、この6月7日(土)に山口高校を中心会場として、全国高等学校定時制通信大会山口県予選が開催されました。本校は、軟式野球部、卓球部、柔道部が

◎軟式野球部	優勝:全国大会出場 ※全国大会(8月13日～17日 神宮球場他)
◎卓球部	男子団体3位 男子個人3位(武永 風太):全国大会出場 ※全国大会(8月5日～7日 駒沢体育館)
◎柔道	女子個人3位(中根 優美香)

ありますが、生徒は昼間は働きながらも、先生の指導のもと、夜の10時、11時過ぎまで頑張ってきた成果です。

なお全国大会出場に向けて、募金活動をしていますので、皆様の暖かい御支援をお願いします。

皆様との出会いに感謝して

山口県立宇部工業高等学校

校長 藤井 博 明

平成19年度末の人事異動で、3年間お世話になった下松工業高校から転出して宇部工業高校に着任し、新たな気持ちで勤務を開始しております。下松工業高校在任中には、母校の発展に御理解と多大な御支援を賜りましたことに厚くお礼を申し上げます。また公私にわたり格別の御厚情を寄せていただき、充実した日々を過ごさせていただいたことにも重ねて心よりお礼を申しあげます。

3年前、下松工業高校に着任した時に、素晴らしい伝統と歴史を誇る学校に着任できた喜びをかみしめ、併せて大きな責任を感じた事を今でも鮮明に覚えております。3年間の時節の中で、何かをなし得たという思いは極めておぼつかない状況ですが、学校行事はもとより、下松工業会の事業所単位の支部会、地域の支部会、総会等の機会をはじめとして母校を支援していただく多数の皆様方との出会いがあり、情の深い親交を深めることができたことが大きな財産と思い感謝を申し上げたい気持ちです。星降る町、下松の地を去るに当たり、惜別の思いがひとしきりの今日この頃です。

さて御承知のとおり、国際化、情報化、少子高齢化など、社会環境が大きく変化する中、学校においては「地域に信頼される学校づくり」の改革が進められております。知識は学校で教えることができて、人づくりの教育はとうてい学校だけでなし得るものではありません。下松工業会の皆様方の、脈々と受け継がれている「愛と正義」の校是のもと、同窓の強い絆の母校への支援や連携は他校に例をみない、今日求められている人づくりの素晴らしい地域力を形成しているものであります。

本年度は母校創立87周年に当たりますが、母校と工業会の力強い結束力がこれからも「地域に信頼される学校づくり」を推進し、社会に有為な人材をあまた輩出する姿だと思われます。3年間の在任中に、母校と同窓会の在り方を強く学ばせていただきました。数々の教を基に残る教職勤務の中で、優れた工業人の育成に力を注ぐことを決意しております。そのことが下松工業会の皆様方から受けた御恩に報いることだと感謝の念でいっぱいです。

終わりにあたり、縁あって下松工業高校に在任した者として、母校の一層の発展と新たな歴史の創造に今後とも変わらぬ御支援を賜りますようお願い申し上げますとともに、下松工業会の皆様方のさらなる御発展を心から祈念し、お世話になったお礼のご挨拶といたします。

運営基金御礼

下記の方々より、ご協力を頂きました。心より厚く御礼申し上げます。この募金は引続き募集いたしますので、何卒、ご協力賜りますよう宜しくお願い申し上げます。

平成19年4月1日～平成20年3月31日

卒年	氏 名	寄附額	卒年	氏 名	寄附額	卒年	氏 名	寄附額	卒年	氏 名	寄附額
M7	吉坂 正夫	1000	M26	松村 敏和	1000	M31	廣中 勲	1000	M36	小川 博己	1000
M9	中屋 正仁	3000	M26	為国 敏	1000	M32	山本 秀治	1000	M36	三原 一彦	1000
M11	中屋 雪男	1000	M26	岩本 郁二	1000	M32	斉藤 正行	1000	M36	志熊 政雄	1000
M11	末次 吉郎	1000	M27	河村 信正	1000	M32	和田吉三郎	1000	M36	河口 烈	1000
M12	長廣 彦二	1000	M27	米山 弘明	1000	M32	弘中 智美	1000	M36	稲田 紘之	1000
M12	有間 緑	10000	M27	川端 修	1000	M32	岡本 正啓	1000	M36	永田 直行	2000
M14	田原 保	1000	M27	石川 喜康	1000	M32	三浦 秀夫	1000	M37	木村 好晴	1000
M14	三奈木秋二	1000	M27	山時 英男	1000	M32	管 貞夫	1000	M37	久本 徳夫	1000
M15	藤田 信昌	1000	M27	江本 正明	1000	M33	長谷川春雄	1000	M37	田村光之進	1000
M15	岡村 賢治	1000	M27	板村 強	1000	M33	原田 純	1000	M37	青木 哲郎	1000
M16	沢井 義明	1000	M27	吉本 隆成	1000	M33	館野 健	1000	M37	藤原松太郎	1000
M16	橋本 三男	1000	M27	浅田 勇	1000	M33	林 修	1000	M37	福田 忠義	1000
M16	中岡 浩史	1000	M27	原田 二郎	1000	M33	田村 正義	1000	M38	藤井 二郎	1000
M16	磯村 清美	10000	M28	田村 幸雄	1000	M33	寄元 孝昭	1000	M38	池永 文人	1000
M17	谷口 文男	1000	M28	大川 洵	1000	M33	河野 清	1000	M38	山岡 弘幸	1000
M17	戸村 勝信	1000	M28	藤元 正俊	1000	M33	長迫 博	1000	M38	松野 瑞輝	1000
M18	竹村 一郎	1000	M28	戸村 武	1000	M33	久芳 龍男	1000	M38	桑羽 玲	1000
M18	西本 六夫	1000	M28	松永 幹生	1000	M33	山本 敏博	2000	M38	浜中 浩	1000
M18	中村 恒亮	2000	M28	宇田 利男	1000	M33	兼清 昇	2000	M38	石川 公明	1000
M19	林 悟	1000	M28	有吉 説志	1000	M34	玉木 武人	1000	M38	西村 忠夫	1000
M20	益田弘三郎	1000	M28	中村 章	1000	M34	池本 幸一	1000	M38	弘中 勝利	1000
M20	加藤 清彦	1000	M28	山本 嘉彦	1000	M34	西村 清	1000	M38	杉原 光夫	2000
M20	白石 直人	1000	M28	鬼武 秀文	1000	M34	杉尾 榮治	1000	M39	市川 隆雄	1000
M20	小田尾政人	1000	M28	橋本 育茲	1000	M34	瀬戸 浩	1000	M39	桜井 洋二	1000
M21	森本 茂	1000	M28	荒谷 芳男	2000	M34	田村 鞆利	1000	M39	山崎 功	1000
M21	岩崎 俊雄	1000	M29	浅本 正孝	1000	M34	廣永 龍男	1000	M39	松田 則光	1000
M21	通山 幸彦	1000	M29	井内 昭	1000	M34	宮川 豊	1000	M39	田村 泰公	10000
M22	左海 孝之	1000	M29	青木 恵三	1000	M34	中山 信夫	5000	M40	山本 勝一	1000
M23	厚井 正毅	1000	M29	足立 元	2000	M34	浜本 正	5000	M41	船本 秀幸	1000
M23	武居 恒夫	1000	M29	柳 芳男	4000	M34	宮本 照夫	10000	M41	山根 和敏	1000
M23	近棟 昭久	1000	M30	米田 嘉一	1000	M35	松重 晴臣	1000	M41	石崎 昭	1000
M23	武居 博	1000	M30	山村 茂晴	1000	M35	常森 宣彦	1000	M42	柳原 正典	1000
M23	黒杭 三祐	2000	M30	小林 克巳	1000	M35	海野 征夫	1000	M42	河村 和彦	1000
M23	玉野 清光	4000	M30	樫部 昭栄	1000	M35	山縣 健治	1000	M42	玉井 正信	1000
M24	田中 正志	1000	M30	二町 健二	1000	M35	波多野 智	1000	M43	岩崎 寛治	1000
M24	兼平 敦登	1000	M30	玉本 一雄	2000	M35	石田 実	1000	M44	岩村 修	1000
M24	和泉 友晴	1000	M30	原田 明	2000	M35	藤井 忠彦	1000	M45	梶田 伸雄	1000
M25	弘中 辰男	1000	M30	松根 巖	1000	M35	井原 義光	1000	M47	和田 俊一	1000
M25	松本 輝之	1000	M31	尾川 信昭	1000	M35	竹尾 輝秀	1000	M47	徳吉 忠	1000
M25	清木日出男	1000	M31	杉本 恒夫	1000	M35	村田 雄司	2000	M48	徳原 英昭	1000
M25	小林 正	1000	M31	塩崎 紀正	1000	M35	安原 勝實	2000	M48	福光 良夫	1000
M25	岡村 信男	1000	M31	高山 興昇	1000	M35	安田 務	3000	M51	門川 光宏	1000
M25	小林 徹	5000	M31	小林 邦彦	1000	M36	山本 和男	1000	M57	青木 義雄	1000

卒年	氏 名	寄附額	卒年	氏 名	寄附額	卒年	氏 名	寄附額	卒年	氏 名	寄附額
M60	村井英一郎	1000	C26	津田 睦夫	2000	C33	石川 達紘	10000	C39	小林 伸雄	1000
MH6	水田 章夫	1000	C26	中山 勲	3000	C34	入海 鉄男	1000	C39	植中新太郎	1000
MH13	矢野 力	1000	C26	岡崎 治人	5000	C34	大田 孝	1000	C39	宝迫 和美	1000
C6	藤本 枝太	1000	C27	大木 正徳	1000	C34	竹山岩太郎	1000	C39	岡田 隆夫	1000
C11	谷 義雄	1000	C27	鬼武 泰夫	1000	C34	林 光恵	1000	C39	丸山 喜三	1000
C12	金政 武雄	1000	C27	藤本 和也	2000	C34	義松 則行	1000	C39	山本 邦雄	1000
C12	吉谷 秋次	2000	C27	友森 正信	3000	C34	鎌田 正道	1000	C39	椎木 紀子	1000
C14	八木 春治	1000	C28	藤田 豊彦	1000	C34	松本 勇	1000	C39	高田 尚美	1000
C15	奥野 耕平	7000	C28	田村 真澄	1000	C34	岡田 秀雄	1000	C39	金岡 幸雄	5000
C16	田中 武司	1000	C28	山本 惇	1000	C34	田浦 朝子	1000	C40	宮本 新二	1000
C16	高橋 榮	1000	C28	弘実 法造	1000	C34	松村 忠義	1000	C40	二藤部 毅	2000
C16	岡田 淳	1000	C28	寺田 幸生	1000	C34	山口 哲	1000	C41	峠 輝男	1000
C16	藤井 三好	3000	C28	田中 忠	1000	C34	毛頭 和則	1000	C41	網永 俊彦	1000
C17	長井 稔	1000	C28	宮武 博文	1000	C34	尾川 伸夫	1000	C43	平谷 俊美	1000
C17	河口 昇	2000	C28	田丸 久	1000	C34	伊藤 良美	1000	C43	山本 清二	2000
C18	吉原 正徳	1000	C28	田中 実	1000	C34	土肥 敏郎	1000	C45	河村 明美	1000
C18	高藤 広夫	1000	C29	岡 亮宏	1000	C34	兼森 忠志	1000	C47	山本 泉	1000
C18	亀田 成文	8000	C29	小川 勇	1000	C34	佐伯 昇	1000	C48	橋本 政昭	1000
C19	殿河内 博	1000	C29	下村 和美	1000	C34	奥村フサ子	2000	C51	吉水 徹	1000
C20	瀬尾 進	1000	C29	福高 直人	1000	C34	野末 育利	2000	CH13	山岡 幸宏	1000
C20	河畑 禮三	1000	C29	笠本 文計	1000	C34	大塚 強夫	2000	CH17	澄田 零	1000
C20	配川 敬典	1000	C29	中野 利明	1000	C34	橋本 信之	3000	E38	藤本 健治	2000
C20	廣中 典夫	1000	C29	清水 博晴	1000	C34	轟 きよの	3000	E38	秋本 協徳	3000
C20	浅海 撰男	1000	C29	福永 幸子	1000	C35	内山 正行	1000	E39	弘中 義彦	1000
C20	田中 信	1000	C29	阿川 悟	5000	C35	中村 巖	1000	E39	古本 節男	1000
C20	田村 善秋	1000	C30	小林 省三	1000	C35	猫沖 眞治	1000	E39	上田 順二	2000
C20	山根 康男	1000	C30	西山 博	4000	C35	松村 武士	1000	E40	広田 純三	1000
C20	坂本 博	2000	C31	小川 洋	1000	C35	藤村 和夫	1000	E41	岸村 敬士	1000
C21	岡田 源一	1000	C31	橋本 正	1000	C35	尾崎 肇	1000	E42	山口 憲男	1000
C21	福田 和人	1000	C31	小笠原 奨	1000	C35	岡 登志美	1000	E45	藤本 辰夫	1000
C21	河村 俊次	1000	C31	清木 元博	1000	C35	梅本 貞則	1000	E46	藤本 康弘	1000
C21	武居 輝二	1000	C31	藤村 浅子	1000	C35	国沢 洋二	1000	E46	河本 滝美	2000
C21	尾本 文夫	1000	C32	配川 晃	1000	C36	竹重 浩祐	1000	E47	有森 浩	1000
C22	久行 由人	1000	C32	神田 一勝	1000	C36	中野 末郎	1000	E47	清木 高治	1000
C22	森 正昭	1000	C32	福田 尚	1000	C36	山崎 新太	1000	E48	藤原 靖則	1000
C22	荒谷実貴男	5000	C32	嶋田 資久	1000	C36	山縣 峻	1000	E48	村上 勇	1000
C23	廣中 次男	1000	C32	毎田 俊美	1000	C36	清木 義晴	1000	E49	重永 裕祥	1000
C24	内山 右三	1000	C32	石丸 顕郎	1000	C36	三保 卓也	1000	E49	山本 秀登	1000
C24	赤瀬 春之	2000	C32	河内山 勇	1000	C36	西本 則夫	2000	E57	重村 宏幸	1000
C25	久行 昭治	1000	C32	河村 一	2000	C36	守田 隆司	3000	E59	佐野 誠	1000
C25	小笠原雄次	1000	C33	井上 賢治	1000	C37	中尾 正	1000	EH14	児玉 浩之	1000
C25	市川 義雄	1000	C33	鑑光 博正	1000	C37	飴谷 算鴻	1000	EH15	山本 直樹	1000
C25	山根 正美	1000	C33	高山 佳昌	1000	C37	藤井 久世	1000	EH16	藤井 誉徳	1000
C26	渡辺 英男	1000	C33	萬徳 晴男	1000	C37	杉本 勝行	1000	T42	大畠 裕治	1000
C26	中司 安人	1000	C33	藤井 敦	1000	C37	浜田 隆二	2000	T44	藤森 友則	1000
C26	上條 弘世	1000	C33	河村 真三	1000	C37	中村 忠士	2000	T46	三戸 七郎	1000
C26	梅光 忠義	1000	C33	坪本 英昭	1000	C38	前田 勝美	1000	IH19	松本 聖弥	1000
C26	末川 正満	1000	C33	白井 隆行	1000	C38	山本 一夫	1000	SH17	河村 和幸	1000
C26	高佐原一之	1000	C33	久野 茂男	2000	C39	藤本 光	1000			

90周年記念行事基金御礼

下記の方々より、ご協力を頂きました。心より厚く御礼申し上げます。この募金は引き続き募集いたしますので、何卒、ご協力賜りますようお願い申し上げます。

平成19年4月1日～平成20年3月31日

卒年	氏名	寄附額	卒年	氏名	寄附額	卒年	氏名	寄附額	卒年	氏名	寄附額
M7	吉坂 正夫	2000	M26	中本 利和	2000	M32	齊藤 正行	2000	M36	永田 直行	2000
M9	中屋 正仁	6000	M27	河村 信正	2000	M32	弘中 智美	2000	M36	山本 和男	4000
M11	中屋 雪男	2000	M27	米山 弘明	2000	M32	岡本 正啓	2000	M37	久本 徳夫	2000
M11	末次 吉郎	2000	M27	川端 修	2000	M32	三浦 秀夫	2000	M37	田村光之進	2000
M12	有間 緑	50000	M27	石川 喜康	2000	M32	管 貞夫	2000	M37	関谷 昌人	2000
M14	田原 保	2000	M27	山時 英男	2000	M33	長谷川春雄	2000	M37	福田 忠義	2000
M14	三奈木秋二	2000	M27	江本 正明	2000	M33	原田 純	2000	M37	谷村 賢二	2000
M15	藤田 信昌	2000	M27	板村 強	2000	M33	館野 健	2000	M38	藤井 二郎	2000
M15	岡村 賢治	2000	M27	浅本 宣之	2000	M33	山本 敏博	2000	M38	池永 文人	2000
M16	沢井 義明	2000	M27	吉本 隆成	2000	M33	林 修	2000	M38	山岡 弘幸	2000
M16	橋本 三男	2000	M27	浅田 勇	2000	M33	田村 正義	2000	M38	松野 瑞輝	2000
M16	中岡 浩史	2000	M27	原田 二郎	2000	M33	寄元 孝昭	2000	M38	桑羽 玲	2000
M16	藤田 恵	2000	M28	田村 幸雄	2000	M33	兼清 昇	2000	M38	浜中 浩	2000
M17	谷口 文男	2000	M28	金永 哲夫	2000	M33	河野 清	2000	M38	石川 公明	2000
M17	中倉 国臣	2000	M28	大川 洵	2000	M33	長迫 博	2000	M38	西村 忠夫	2000
M17	戸村 勝信	2000	M28	藤元 正俊	2000	M33	加藤 武彦	2000	M38	杉原 光夫	2000
M18	中村 恒亮	2000	M28	戸村 武	2000	M33	久芳 龍男	2000	M39	市川 隆雄	2000
M19	林 悟	2000	M28	宇田 利男	2000	M34	玉木 武人	2000	M39	桜井 洋二	2000
M20	益田弘三郎	2000	M28	有吉 説志	2000	M34	池本 幸一	2000	M39	山崎 功	2000
M20	加藤 清彦	2000	M28	中村 章	2000	M34	西村 清	2000	M39	田村 泰公	10000
M20	中川 陽	2000	M28	山本 嘉彦	2000	M34	杉尾 榮治	2000	M40	山本 勝一	2000
M20	小田尾政人	2000	M28	鬼武 秀文	2000	M34	田村 鞆利	2000	M41	船本 秀幸	2000
M20	大谷嚴太郎	2000	M28	橋本 育茲	2000	M34	廣永 龍男	2000	M41	山根 和敏	2000
M20	相本 幸夫	4000	M28	松永 幹生	4000	M34	宮川 豊	2000	M41	石崎 昭	2000
M21	岩崎 俊雄	2000	M28	荒谷 芳男	4000	M34	國廣 隆紀	2000	M42	柳原 正典	2000
M21	通山 幸彦	2000	M29	足立 元	2000	M34	石川 和男	2000	M42	河村 和彦	2000
M22	左海 孝之	2000	M29	浅本 正孝	2000	M34	中山 信夫	10000	M42	玉井 正信	2000
M23	厚井 正毅	2000	M29	井内 昭	2000	M34	浜本 正	10000	M43	岩崎 寛治	2000
M23	武居 恒夫	2000	M29	中野 政次	2000	M35	常森 宣彦	2000	M44	岩村 修	2000
M23	近棟 昭久	2000	M29	青木 恵三	2000	M35	藤井 秀男	2000	M47	徳吉 忠	2000
M23	武居 博	2000	M29	柳 芳男	6000	M35	海野 征夫	2000	M48	徳原 英昭	2000
M23	黒杭 三祐	2000	M30	玉本 一雄	2000	M35	山縣 健治	2000	M48	福光 良夫	2000
M23	玉野 清光	6000	M30	山村 茂晴	2000	M35	波多野 智	2000	M51	門川 光宏	2000
M24	田中 正志	2000	M30	原田 明	2000	M35	村田 雄司	2000	M57	青木 義雄	2000
M24	兼平 敦登	2000	M30	樫部 昭栄	2000	M35	石田 実	2000	MH6	水田 章夫	2000
M25	弘中 辰男	2000	M30	二町 健二	2000	M35	藤井 忠彦	2000	MH13	矢野 力	2000
M25	松本 輝之	2000	M30	松根 巖	2000	M35	安原 勝實	2000	C6	藤本 枝太	2000
M25	清木日出男	2000	M31	尾川 信昭	2000	M35	井原 義光	2000	C12	吉谷 秋次	2000
M25	小林 正	2000	M31	塩崎 紀正	2000	M35	竹尾 輝秀	2000	C12	金政 武雄	2000
M25	岡村 信男	2000	M31	高山 興昇	2000	M35	安田 務	6000	C14	八木 春治	2000
M25	小林 徹	10000	M31	小林 邦彦	2000	M36	小川 博己	2000	C14	中川 春雄	2000
M26	河村 幸男	2000	M31	廣中 勲	2000	M36	三原 一彦	2000	C15	奥野 耕平	2000
M26	東原 忠行	2000	M32	山本 秀治	2000	M36	河口 烈	2000	C16	田中 武司	2000

卒年	氏 名	寄附額	卒年	氏 名	寄附額	卒年	氏 名	寄附額	卒年	氏 名	寄附額
C16	高橋 榮	2000	C28	田中 実	2000	C34	田浦 朝子	2000	C39	金岡 幸雄	4000
C16	岡田 淳	2000	C28	寺田 幸生	10000	C34	松村 忠義	2000	C40	二藤部 毅	2000
C17	長井 稔	2000	C28	原田 金伝	20000	C34	山口 哲	2000	C40	宮本 新二	2000
C17	河口 昇	2000	C29	石村 進	2000	C34	毛頭 和則	2000	C40	酒井 光正	2000
C18	亀田 成文	2000	C29	岡 亮宏	2000	C34	伊藤 良美	2000	C41	峠 輝男	2000
C18	米奥 善登	2000	C29	小川 勇	2000	C34	兼森 忠志	2000	C43	森重 卓雄	2000
C18	吉原 正徳	2000	C29	下村 和美	2000	C34	橋本 英子	2000	C43	山本 清二	2000
C18	高藤 広夫	2000	C29	山本 一朗	2000	C34	足立恵美子	2000	C43	平谷 治美	2000
C19	殿河内 博	2000	C29	笠本 文計	2000	C34	大塚 強夫	4000	C44	山本 哲夫	2000
C20	瀬尾 進	2000	C29	中野 利明	2000	C34	橋本 信之	6000	C45	河村 明美	2000
C20	河畑 禮三	2000	C29	清水 博晴	2000	C34	轟 きよの	6000	C47	山本 泉	2000
C20	坂本 博	2000	C29	福永 幸子	2000	C35	浜田 道子	2000	C48	橋本 政昭	2000
C20	配川 敬典	2000	C29	阿川 悟	4000	C35	内山 正行	2000	C51	吉水 徹	2000
C20	廣中 典夫	2000	C30	友森 隆洋	2000	C35	松村 武士	2000	CH2	西 潤一郎	2000
C20	大上 良一	2000	C30	小川 清	2000	C35	藤村 和夫	2000	CH13	山岡 幸宏	2000
C20	浅海 撰男	2000	C30	安田 宣雄	2000	C35	尾崎 肇	2000	CH17	澄田 零	2000
C20	田村 善秋	2000	C30	落 利彦	2000	C35	毛頭 陽子	2000	E38	秋本 協徳	6000
C20	山根 康男	2000	C30	小林 省三	2000	C35	岡 登志美	2000	E38	藤本 健治	8000
C21	福田 和人	2000	C30	西山 博	6000	C35	梅本 貞則	2000	E39	小林 宏明	2000
C21	河村 俊次	2000	C31	小川 洋	2000	C35	中山 健	2000	E39	弘中 義彦	2000
C21	武居 輝二	2000	C31	橋本 正	2000	C35	国沢 洋二	2000	E39	上田 順二	2000
C22	小野 幹夫	2000	C31	小笠原 奨	2000	C36	竹重 浩祐	2000	E41	岸村 敬士	2000
C22	久行 由人	2000	C31	清水 元博	2000	C36	山崎 新太	2000	E41	山本 信行	2000
C22	森 正昭	2000	C31	藤村 浅子	2000	C36	清水 義晴	2000	E42	山口 憲男	2000
C22	荒谷実貴男	10000	C31	田村 利明	2000	C36	西本 則夫	2000	E45	藤本 辰夫	2000
C23	廣中 次男	4000	C32	河村 一	2000	C36	三保 卓也	2000	E46	藤本 康弘	2000
C24	赤瀬 春之	2000	C32	嶋田 資久	2000	C36	山縣 峻	4000	E46	河野 武俊	2000
C25	松村 隆	2000	C32	毎田 俊美	2000	C36	守田 隆司	6000	E46	河本 滝美	8000
C25	中川 正夫	2000	C32	石丸 顕郎	2000	C37	浜田 隆二	2000	E47	有森 浩	2000
C25	小笠原雄次	2000	C33	井上 賢治	2000	C37	飴谷 算鴻	2000	E47	清水 高治	2000
C25	市川 義雄	2000	C33	鑑光 博正	2000	C37	藤井 久世	2000	E48	藤原 靖則	2000
C25	山根 正美	2000	C33	高山 佳昌	2000	C37	中村 忠士	2000	E48	村上 勇	2000
C26	中司 安人	2000	C33	藤井 敦	2000	C37	杉本 勝行	2000	E49	山本 秀登	2000
C26	津田 睦夫	2000	C33	森下 勲	2000	C38	前田 勝美	2000	E57	重村 宏幸	2000
C26	梅光 忠義	2000	C33	河村 真三	2000	C38	山本 一夫	2000	E59	佐野 誠	2000
C26	吉岡 經孔	2000	C33	坪本 英昭	2000	C38	掛川 潔	2000	EH4	梅本 剛	2000
C27	藤本 和也	2000	C33	白井 隆行	2000	C38	大田 克正	2000	EH15	山本 直樹	2000
C27	藤井 睦夫	2000	C33	井上 賢治	5000	C39	藤本 光	2000	EH16	藤井 誉徳	2000
C27	大木 正徳	2000	C33	井上 賢治	6000	C39	篠本 敏次	2000	IH19	松本 聖弥	2000
C27	鬼武 泰夫	4000	C33	久野 茂男	8000	C39	笹木 正明	2000	SH17	河村 和幸	2000
C27	友森 正信	6000	C33	石川 達紘	50000	C39	小林 伸雄	2000	T42	大畠 裕治	2000
C28	藤田 豊彦	2000	C34	大田 孝	2000	C39	植中新太郎	2000	T44	藤森 友則	2000
C28	田村 真澄	2000	C34	竹山岩太郎	2000	C39	宝迫 和美	2000	T46	三戸 七郎	2000
C28	藤内智恵子	2000	C34	奥村フサ子	2000	C39	岡田 隆夫	2000			
C28	山本 惇	2000	C34	林 光恵	2000	C39	丸山 喜三	2000			
C28	弘実 法造	2000	C34	鎌田 正道	2000	C39	山本 邦雄	2000			
C28	田中 忠	2000	C34	松本 勇	2000	C39	椎木 紀子	2000			
C28	田丸 久	2000	C34	岡田 秀雄	2000	C39	高田 尚美	2000			

支 部 総 会 〔各支部の総会をご紹介します〕

支部長 E39 古 本 節 男

岩国支部設立について

平成19年12月1日18時より、岩国国際観光ホテルに於いて、岩国支部設立総会を開催いたしましたところ、本部より、野田会長、河村副会長、槌尾専務理事と各支部（4名）のご出席をえて、20名余の参加者、おかげさまで盛会裡に総会を終えることができました。

団塊世代の多量退職期を迎え、企業・企業支部を離れる方々の受け皿として、また、岩国地区で活躍している同窓生の親睦の集いの場として、岩国支部を運営したいと思います。

出来たばかりの支部ですが、今後ともよろしくお願い致します。

支部長	古本 節男 E39	副支部長	沖本 勝 M39	事務局長	市川 雅明 E47
幹 事	河田 啓次 C22	河村 真三 C33	岡田 秀雄 C33	藤田 圭子 C34	
	吉見 義憲 C35	西森 範秋 C36	三保 卓也 C36	西見 薫 E41	
	友員 純生 M42	中原 克則 M42			
監 事	杉本 勝行 C37	栗田 一生 E39			
会員数	44名				
設立日	平成19年12月1日				

○東京支部総会

平成19年11月3日 東海大学・学友会館…霞ヶ関ビル33階



会場からの眺め



○関西支部総会

平成19年11月25日 ラマダホテル



○周南支部総会

平成19年10月20日 ザ・グラマシー



○周防大島支部総会

平成19年12月2日 うずしお荘



下松支部

花見の会

平成20年4月10日 下松工業会館

当日は、野田会長が自宅の庭に咲いた桜一輪を壺に挿して持参され、会の趣向を盛り上げられました。



名月鑑賞会

平成19年9月26日 下松工業会館

当日は、下松工業会館3階の窓からすばらしい満月を観ることができました。



B N W だより

産直部会活動開始!! 出品者募集中

6月7日から周南市内のスポーツクラブ「アクス周南」(株周南スイミングクラブ)と提携して、「産直市」をスタートしました。

下村さんと奥様は早朝の4時起きで、ほうれん草、サンチュ、ちんげん菜などを出品、販売もお手伝いいただきました。

実近さんは土つきの大根と玉葱。山本さんの各種天然蜂蜜、などなど出品。樋尾専務理事や徳原理事も応援に来場。

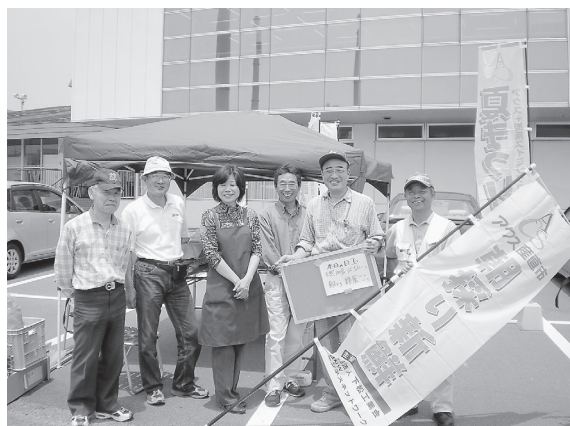
メンバーの埴さんは「110日間世界一周の船旅」中で、北極海からメール参加。

「私たちが作りました」「朝採り新鮮」「食の安全・めざそう健康」…これがぼくらの旗印。初日の売上は26,000円の上々のスタート。今後、毎週土曜日に「定例朝市」を開きますので、ぜひ、応援にきてくださいね。また、農産物のほかにも、山菜、果実、工芸品も扱いますので、出品者・新会員を募集しています。

場 所：周南市江口「アクス」駐車場内

時 間：土曜日の昼前後（雨天の時は中止）

連絡先：栗田一郎（HP 080-1946-5118）



樋尾 実近 下村 下村 栗田 小林
(奥様)

クラス会情報

C20クラス会

平成19年11月6日、湯野温泉「紅葉館」一泊、参加者9名（総勢18名）でクラス会を催した。

62年ぶりに参加した人もいて、しばし歓談のひと時がもてた。

母校創立90周年（平成23年：2011年）の時にあわせて、次回クラス会を予定し、お互いに健康で頑張り再会を約して散会した。

C20クラス幹事 森本 宏



昔若人(今も若い?)のクラス会

(M23・24)

平成19年9月28日、徳山駅西の「西条柿」というところで、下工（M23）のクラス会を行った。当日は、9月末というのに真夏を思わせるような暑い日であったが、22名が参加。遠くは千葉県や奈良県からの参加もあった。14名の欠席者があったが、仕事



の都合（現役で働いている）や、少し体調がよくないというものである。

卒業して59年、喜寿を迎える人、傘寿を迎える人様々だか、戦中戦後の苦しい時代を生き抜いてきただけになかなか遅い。全員無病息災とはいかないが、出席した人は皆元気で昔話に花が咲く。また、一人ひとりの近況報告ではアルコールが少し入ったせいもあり、笑いあり、野次ありで大変盛り上がった。

最後は、全員で声高らかに校歌を合唱し、来年の再会を約して幕引きとなる。

（文：山田信義）

M27会

終戦の翌年、昭和21年入学し、途中で高等学校新編成により新入学が無く、最下級生を4年間過ごし、併中・高校と6年間在学して、昭和27年卒、会の名称を「M27会」としている。

平成に入っては、

平成5年8月 還暦クラス会

（ホテル「幾久屋」46名）

平成15年5月 古希クラス会

（ホテル「サンルート」33名）

を母校の見学と恩師をお招きして、開催している。

このほかに周南を中心に写真の21名が毎年2回、下松工業会館で「暑気払い」、「新春を寿う会」を開催して、親睦を深めている。

同級生の皆さん、気軽に参加して下さい。ご連絡は、下記の幹事まで。

下松工業会事務局 電話（0833）43-1336

幹事 林 一成 椎木 清美

（文：代表幹事 清水 英雄）



卒業50年目 志賀島に集う (C32)

「やー久し振り元気か」「白くなったなー」「自分も薄くなったのに…」等々の会話が弾み、握手・肩を叩きながらまずはお互いの息災を称えあう。

平成19年10月15日16時の約束時間に一人の遅参者も無く参加者全員が三々五々集合した。鹿児島本線千早駅(平成15年開業)平日で乗降客の少ない広々とした構内での一コマである。

昨年10月、関東近郊在住者が集まり中華街で食事をした。話題がクラス会のこととなり還暦時以降集まってない、卒業50年目を迎えクラス会を開催しようではないかとの提案があり嶋田幹事中心に福岡近辺での開催をサウンディングすることとなった。

年賀状を兼ねてのアンケートに始まり、希望の調査、出欠の確認を経て今回の開催となった。我々のクラス仲間38名の内、病気加療中、家族の介護あるいは今だ現役、等々の事情により直近で参加できなくなった者が意外と多くなり結局参加者は9名であった。

駅前より出迎えのバスに乗り、海の中道を通り宿泊先の「休暇村 志賀島」(福岡市)へと向かう。チェックイン後は早速に浴衣に着替え、玄海島(福岡県西方沖地震の被害地)の向こうに沈む夕日を眺めながら露天風呂で疲れを癒す。懇親会では、休暇村の心づくし料理に舌鼓を打つ、みんな健嘆である。お酒のまわりと共に饒舌振りを発揮、卒業アルバムを見ながら在校時代(35周年の久原房之助翁の胸像除幕式、ガス発生装置の完成等があった)のこと、授業のこと、仲間のこと等々、また半世紀を過ぎて時効となり解禁になったであろう事柄などセピア色の思い出を大いに語った。筆舌に尽くしきれぬほどに盛り上がった。



今回、ご多忙のためにご出席いただけなかった時政・市川両先生の丁重なるお手紙、資料の披露があり、ひと時を思い出に浸った。また、現役時代の苦労話、近況の話等々で瞬く間に時間が経過、二次会に持ち越す。部屋での二次会もさすが「友愛正義」の校風のもと乱世を強く生きぬいた面々、深夜まで経験談、エピソードを語り明かした。腹藏なく、主義・主張の壁もなく胸襟を開いて語り合えるのはクラスメートであろうと思う、これからも大切にしていきたいものである。

翌朝も好天に恵まれ、マイクロバスで半日の市内観光に出掛ける。金印公園を車窓から眺めながら、Yahooドーム、福岡タワーのある臨海地区を一巡りした後、山笠で有名な櫛田神社、引き続き学問の神様太宰府天満宮(少し遅すぎたか…)に参拝した。引き続き近くの九州国立博物館へ、本願寺の秘宝展をみる者、またはパイヨン遺跡の紹介ビデオを鑑賞して格調高い? 時間調整。参道で名物の「梅が枝餅」をほうばり腹ごしらえ、半日の観光を終えて博多駅へ。博多駅にて家族へのお土産を購入、次回の再会を約して銘々帰路に着いた。

何年経っても母校への思いは変わらない、「甲子園のスタンドで校歌を歌おう」との希望があったことも申し添えておく。

(吉村 記)

卒業50周年記念同窓会 (C33 2組)

『陽は落ちて昏るるに未だ遠し』の意気で、33年卒をもじって「燦燦会」と名付けた同窓会は、毎年1回の開催。近況報告、趣味の世界、地域社会へのお手伝い等々語り合っています。毎回各人が定住している土地を巡っての開催でしたが、今年は50周年を記念して母校を訪問いたしました。教頭先生、化学科長先生、事務長さん達の暖かいおもてなし、そして学校現況の説明、実習室を見学させてもらい当時の学び舎と内容の変貌に目を見張りました。唯一残っている薬品貯蔵庫に感激し、久しぶりに胸がときめきました。ありがとうございました。青春時代の思い出を眠らせないで今一度元気をもらった素晴らしい同窓会でした。母校の今後益々の繁栄を祈念いたします。

終わりに級友高山佳昌君からの手紙を抜粋させて

もらい来年の再会を楽しみにします。（上田 記）
●懇親会では、70年近い人生経験豊かな会話、ボケと突っ込みに楽しいひと時を過ごすことができました。初日の学校訪問、次の日の石見銀山、足立美術館での発見は、私にとって忘れることのできない日となり、ありがとうございました。一点を見つめるような毎日の生活から少し離れて、過去を思い起こし、視野を広げてくれるのが同窓会かもしれません。さりげなく交わす言葉の中に、訪れた街角で、何かを見つけることに努めています。

浜松の時は、久野さんから「心に蛍の光を灯そう」との話を聞き、米川村へ行ってみたいとなりました。道後温泉では「円満神社」という名の、今回は「極楽寺」という名の建物を見つけました。みなさん一人ひとりの顔を思い浮かべ「家庭円満、前途に幸多かれ」と祈りました。

衰えるだけの後期高齢者へとならないように「身も心も若くならう」「子どもの心を持ち続けよう」との思いを新たにしています。

人生の荒波を乗り越え、「夢と希望を持ち続けて何時も青春」の心を持ち続けている皆さんとの再会を楽しみにしています。



母校 大田胤正校長胸像前にて



平成20年度 燦々会

C39クラス会

午後2時頃から工業会館3Fに集合。3時、17名がタクシーに分乗し母校へ。母校では下村教頭及び平本事務長の出迎えを受ける。

玄関前の庭(築山)を背景に記念写真撮影。

一同応接室に通して頂く。お茶の接待を受けながら、校長先生は出張中ということで、教頭先生より母校の近況について説明を受ける。その途中1名が加わる。質疑応答もありなごやかな30分。その後、後輩の岸田先生の案内で化学の実習室他体育館、武道場等を見せて頂く。グラウンドでは野球部、ハンドボール部、サッカー部などが練習に励んでいた。4時15分、教頭先生、事務長、岸田先生のお見送りを受け母校を後にする。



母校で近況の説明を受ける



昔の通学路を歩く



帰りは昔の通学路(大海町一踏切ー西市ー中島町ー中市ー元町ー下松駅)を全員で歩く。

懇親会の会場は下松ステーションホテル。4時40分、すでに16名が待っている。合わせて33名。6時までの予定で先ず近況報告。1人2分の持ち時間では足りない。なんとか6時に終わる。次の開催地(関西地区)及び幹事団(武居庄、大田、篠本、藤本)を決める。そして全員で記念写真。遅れて3名やってくるが何とか宴会に間に合った。総勢36名。6時30分、原田浩君の開会の挨拶に続き、岡本保夫君による乾杯。飲む、飲む、飲む。気がついたら8時30分。時間だから終わってくれという。2時間ではまだまだ話し足りん、飲み足りん。が、仕方がないので先ず応援団長藤田君(下松)のリードにより校歌斉唱とエール、そして、篠本君(大阪)の一本締めで終了する。まだまだ飲み足りない、話足りないというので2次会へ。20数名が押しかけ貸切となる。飲んだ飲んだ、広島や防府方面は間に合ったかしら、少し気にしつつ泊り組と地元は午前様。宿泊は7名。

翌25日はゴルフ。12名が参加。白須那カントリークラブ。優勝は守田秀昭君。次回は平成21年、関西で開催する。(河村 記)

C50騒動会(クラス会)

平成19年8月11日 下松工業会館(参加者:23名)



母校在校生にお知らせ

下松工業会の紹介

正式名称:社団法人下松工業会

構成:正 会 員 下松工業高校の卒業生

特別会員 学校職員

会 費:入会金 5,000円(今回すでに頂きました)

会 費 1,000円(1年)

主な事業

1. 育英奨学事業

毎年2名の方に奨学金を出しています。

2. 講演会の開催(現在は総会の折に実施)

3. 機関紙の発行

1年に1回発行。

4. 下松工業会ビジネスネットワークの展開

人的資源の活用、情報の共有化、会員同士のニーズやシーズの引き合わせ、アイデアの商品化、起業の支援・アドバイス

5. 下松工業会館の運営

下松駅北口到下松工業会館ビルを所有

1F:テナント イタリア料理店「ソリッヅ」

2F:事務所(専務理事が常駐)気楽に遊びに来てください。

2F、3F:部屋 懇親会、会合、研修会

6. 総会と懇親会の実施

1年に1回総会と懇親会を行います。

5月第3土曜日 午後1時から

下松駅前(南口)きらぼし館

総会終了後に懇親会を開催。

7. 会員の親睦行事

ゴルフ、ボウリング、麻雀大会

8. 各地域及び企業に支部

入会のしおりに記載されていますように各地並びに企業に支部があります。支部行事といっても1年に1回集まって懇親会をする程度です。支部によっては旅行したり、ゴルフ或いは花見などを行うところもあるようです。

9. 学年幹事について

1年に1回、工業会事務所において、学年幹事会を開催します。若い皆さん方からの意見を聞かせていただくことが主な目的です。

学年幹事の仕事

先ずは卒業時のクラスの要として、クラス会を開催して下さい。このクラス会に際しては、ご相談頂ければ、案内状の作成や発送は工業会事務局でお手伝いします。また、クラスメイトの住所変更を把握された場合は、工業会事務局へご一報願います。

社会人になって思うこと

CH20 澄川 宣成

私が社会人になって思うことは、コミュニケーション能力の重要性です。私と仕事をする人達は、皆が10歳年上ぐらいなので、どんな風に会話すればいいのかかわからずに戸惑いました。これから、ずっと仕事を一緒にする仲間、先輩なので早めに仲良くなることが、仕事もプライベートも充実したものになると思っています。また、うまいこと会話するには、共通の趣味を持つことや、今まで経験した物事がいります。私の経験したことなどは、まだ19年しか生きていないので、そんなにおもしろい話はないので、新しい趣味を作っていこうと思います。

他には、危険が増えたと思います。車に乗れるのは、とても便利で楽ですが、交通事故には注意をしなければいけません。人をもし轢き殺してしまったら一生責任を負うことになります。また、私は鉄工業の仕事に就いているので、いつ事故にあってしまい、命を落とすかわかりません。毎年、鉄工業の社員が2、3人事故を起こして死んでしまっているようなので、そういったことにはならないように注意をします。

次に、お金の大切さがわかりました。今までは、両親に食わせてもらっていたので大丈夫でしたが、今は、食費や寮費、その他もろもろの費用でお金があつというまになくなってしまいます。なので、お金を大事に使おうと思います。

CH20 西村 将平

私が社会人になって思うことは責任の違いです。今までは、自分がミスしてもそれほど重い責任にはならなかったけれどこれから先は仕事でミスをすれば、自分だけでなく同じ部署の人や、会社の人にもまで責任が及び、場合によっては、一生かかっても返せないような賠償金を払わなければならないこともあります。また、今では自動車を運転するようになりました。今までは自分は歩行者か自転車に乗っていたのでほとんどの場合で被害者でしたが、これからはそういった人と事故をしてしまったら自分は加害者になってしまいます。そうすると自分や自分の家族、相手や相手の家族、その周りの人にも迷惑をかけてしまいます。そういったことが起こらないようにするには、決められたルールを守り、しっかりとした認識の元で行動することが大切だと思います。会社では、社規や運転マニュアル、社会では法律や条例などそれをしなければ危険だというものそれぞれきちんと決められているので、そういった

ものをきちんと遵守したいと思います。そして万が一にもそういったことが起きてしまったら、しっかりと責任をまっとうし、自分に出来ることをしたいと思います。

平成19年度学年別幹事一覧表

組	氏 名	勤 務 先
M	原 敦巳 森野 裕太	(株)トクヤマ 武田薬品(株)
S	藤本 和典 松岡 孝尚	(株)ユーメックス光事業所 新日鐵住金ステンレス(株)
I	三園 辰徳 山崎 洋志	帝人ファイバー岩国 東ソー(株)
C	澄川 宣成 西村 将平	東洋銅板(株) 東ソー(株)
M4	貞國 忠昭	(株)ユーメックス光事業所

日立笠戸支部“下工弁慶号の清掃を実施”

2007年11月18日、日曜日、下松工業会日立支部（参加者：家族含め総勢22名）にて下松市役所前のグリーン広場に保管してある下工弁慶号の清掃を行いました。（その後、“米川大將軍山”にハイキング）

早朝9:00市役所グリーン広場に集合し、ぞうきを片手、両手にと、清掃に取り掛かりました。隅々まできれいにする人、子供をかたぐるまして高い所を清掃する人、清掃は二の次で弁慶号を懐かしむ人、運転席に乗りSL気分を味わう子供、等さまざ

でした。40分という短い予定時間でしたが、清掃を進めていく内、あそこも、ここも、ときれいにしようという気持ちが増してきて結局、1時間を費やしました。しかし、初めての出身校関係物に関わると言う事もあり清掃後は少しばかり感動した面持ちとなり、すがすがしい気持ちでその場を離れた事を覚えています。

最後になりましたが、本件にご協力いただいた市役所の方々に感謝致します。

日立笠戸支部 瀬来



謹んでご冥福をお祈りいたします

社団法人 下松工業会

正会員物故者

(平成19年度会報No.38号記載以降
事務局に連絡があった方のみ)

卒 年	氏 名	住 所
M 4	都野 武志	周南市
M 5	井上 正彦	周南市
M 8	竹本 勇雄	岩国市
M 8	齋藤 正明	大阪市
M15	飛松 義孝	光市
M16	廣中 正二	柳井市
M16	牛見 陽	尼崎市
M16	山本 万吉	足立区
M16	児田 信夫	船橋市
M16	徳永 幸一	周南市
M16	小川 英夫	下松市
M17	森田 朝一	下松市
M17	岡田 正信	下松市
M17	藤田 隆	岩国市
M18	秋田 清美	周防大島町
M18	辻 弘司	岩国市
M20	原田 翠	大阪市
M20	清水 翠雄	防府市
M20	津守 初	周南市
M20	山本 貞一	茅ヶ崎市
M21	三井 修介	花見川区
M26	磯部 昭人	別府市
M27	板村 強	周南市
M29	佐川 好亮	広島市
M31	合田 孝純	下松市
M32	河内山 大作	下松市
M37	竹内 清	箕面市
M47	岡橋 良行	光市
M51	藤井 秀明	田布施町
C大15	川上 泰男	下松市
C12	吉谷 秋次	岩国市
C13	万代 安三	下松市
C13	鈴木 八郎	山口市
C16	福田 秀男	岩国市
C16	藤本 良人	横浜市
C18	宇野 利夫	下松市
C18	橋本 保	岩国市
C20	手嶋 巨	周南市
C20	佐伯 昌敏	周南市
C25	小西 宏	周南市
C26	福谷 恒彦	防府市
C28	藤井 恒雄	下松市
C29	松村 憲行	周南市
C29	武居 収治	防府市
C34	石田 保夫	防府市
C35	中山 健勝	杉並区
C38	網本 良勝	神戸市
C47	川崎 和昭	岩国市
C54	坪田 剛彦	光市
CH11	住田 剛彦	光市

特別会員物故者

氏 名	住 所
社 会 清 木 幹 丈	下松市

受章おめでとうございます

瑞宝双光章 M27 原田 二郎 柏市

川 柳

C 40 秋貞 敏子

作品展菓子折渡すために行く
お隣と話が弾む低い塀
昼寝して機嫌を取っておく命
野良猫にエサはやれぬと言いつけ
蜚飛ぶこの世に未練あるように

VHS/DVD の販売

花岡八幡宮御鎮座千三百年式年大祭

このお祭りの模様を
編集したVHS、DVD
を1本2,000円にて
販売



ご希望の方は、E47 石井道明まで (0834-26-1168)

出 版



句集 ある雪の日に

著者 C39 河村正浩
定価 1,000 円

ご希望の方は事務局まで

事務局からのお知らせ

平成 21 年度定時総会

と き 平成 21 年 5 月 16 日(土)午後 1 時～
と ころ 下松市大字豊井 1247 番地(下松駅南)
会 場 きらぼし館(きらぼしホール)
多数の参加をお待ちしています。

第 17 回七彩会ゴルフ大会ご案内

日 時 10 月 8 日(水)
会 場 白須那カントリークラブ
スタート アウト・イン 8 時 30 分(20 組)
参 加 費 2,500 円
競技方法 ダブルペリア方式

七彩会麻雀大会

日 時 2 月上旬
会 場 下松工業会館
会 費 2,000 円

七彩会ボウリング大会

日 時 3 月上旬
会 場 くだまつボウリングセンター
会 費 1,000 円(くつ代自己負担)

*ゴルフ・麻雀・ボウリングに参加希望の方は事前にご連絡ください。詳しいご案内をいたします。

平成20年度就任支部長

新日本石油精製(株)麻里布支部	M45	原田 正雄
三井化学(株)岩国・大竹支部	E46	後山 純二
岩国支部	E39	古本 節男

お願い

平成23年10月に母校創立90周年に4年余すことになりました。引き続き90周年記念事業基金の募金活動に暖かいご理解とご支援をお願い申し上げます。また、運営基金・年会費のご理解とご協力をよろしくお願い申し上げます。また、年会費を個人・地域支部会員で前納されている方は年会費の欄を二重線で消しています。失礼ですが、消し忘れがありまし

たら消してください。よろしくお願いします。

▼下記については事務局にご連絡ください。

1. 会員名簿の内容に変更がありました場合、姓・現住所の変更等必ずご一報ください。
2. 会員で叙勲及びこれらに準ずる受章(受賞)をされた方がありましたらご連絡ください。
3. 会員の方々のご不幸がありましたらご連絡ください。
4. クラス名簿、支部別名簿、タックシールはすべて対応ができますので必要な場合はお気軽にお申し出ください。
クラス会や支部総会案内の作成、発送の事務も行いますのでご利用ください(但し、実費はいただきます)。

〃勧誘にご注意、

母校・同窓会等の名を借りた、新聞広告や資格取得の勧誘或いは名簿作成、同窓会名鑑の企画と言って、母校・同窓会以外の不詳団体から、郵便、電話があると聞いております。電話での勧誘並びに、母校又は同窓会の署名(学校長又は会長名)のないものは一切受け付けないでください。

支部発足にご協力ください

(社)下松工業会の充実を図るには地域の要になる支部の存在は不可欠です。下記地区で発足にご協力頂ける方は是非とも下松工業会事務局へご一報をお願いします。なお、何も下記地域に限定するものではありません。

岡山県、広島県、愛媛県、香川県、宇部市、山陽小野田市、下関市

編 集 後 記

会報は親しみやすく、読みやすいものにした
いと、そして一人でも多くの皆さんに登場して
頂きたいと思っています。会報の充実を図るた
めに皆様方から多くの原稿を(消息、トピッ
クス、エッセイ等)をお待ちしています。

事務局